

道路整備等に関するアンケート調査の実施結果

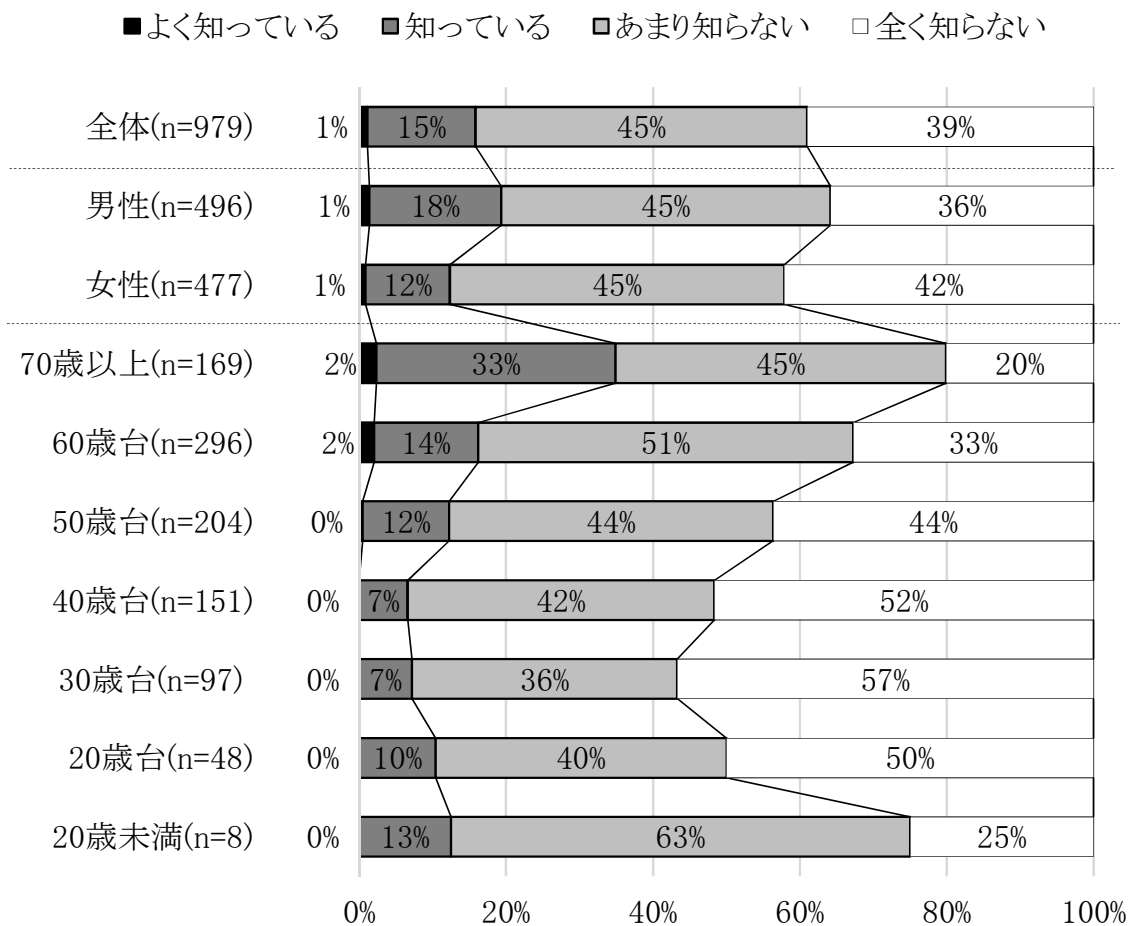
資料5

＜道路整備の方向性に対する認知度＞
 「よく知っている」「知っている」を合わせて1割超

問1 現在、県の道路整備の方向性については、主に総合5か年計画(平成25年度～29年度)に記載しているところですが、その内容をご存じですか。(〇は1つ)

	n= 992	回答数 (人)	割合
よく知っている		11	1.1%
知っている		144	14.5%
あまり知らない		442	44.6%
全く知らない		382	38.5%
無回答		13	1.3%

- 年齢別にみると、「よく知っている」「知っている」70歳以上では3割を超えているのに対し、30歳台・40歳台では1割にも満たない。



＜乗り物の保有状況＞
自動車の保有は9割超、自転車の保有は約6割

問2 以下の乗り物を保有していますか。(○はいくつでも)

	n= 992	回答数 (人)	割合
自動車		949	95.7%
自転車		571	57.6%
オートバイ・原動機付き自転車		156	15.7%
車いす		28	2.8%
ハンドル形電動車椅子		9	0.9%
上記の乗り物は保有していない		9	0.9%
無回答		1	0.1%

- ① 年齢が高くなるほど自転車やオートバイ等の保有率は下がる一方、自動車の保有率はほぼ横ばい。
- ② 割合は低いですが、高齢層でハンドル形電動車椅子(下図参照)の所有者がいる。

	n	自動車	自転車	オート バイ・ 原動機 付き 自転車	車いす	ハンドル 形電動 車椅子	左記の 乗り物は 保有して いない
20歳未満	8	63%	63%	38%	0%	0%	0%
20歳台	48	77%	60%	13%	0%	0%	2%
30歳台	97	99%	62%	11%	1%	0%	0%
40歳台	153	98%	69%	20%	1%	0%	1%
50歳台	208	98%	65%	20%	3%	1%	0%
60歳台	301	97%	54%	17%	5%	1%	1%
70歳以上	170	①95%	①41%	①8%	2%	②1%	2%
全体	992	96%	58%	16%	3%	1%	1%

参考



ハンドル形電動車椅子
(経済産業省HPより)

＜外出時の目的や交通手段＞

普段の外出目的は通勤や買物が多く、交通手段は自動車が8割超と圧倒的に多い

問3 普段、どのような目的での外出が最も多いですか。(○は1つ)

	n= 992	H29調査		【参考】	増減 H29-H23
		回答数(人)	割合	H23調査 割合	
通勤		458	46.2%	(42.0%)	4.2pt
買物		277	27.9%	(24.8%)	3.1pt
仕事(配達、得意先回りなど)		117	11.8%	(13.1%)	-1.3pt
趣味・娯楽		51	5.1%	(4.5%)	0.6pt
通院		33	3.3%	(5.0%)	-1.7pt
家族の送迎		30	3.0%	(2.7%)	0.3pt
通学		7	0.7%	(4.5%)	-3.8pt
その他		17	1.7%	(2.5%)	-0.8pt
無回答		2	0.2%	(0.9%)	-0.7pt

問3で○をした目的で外出する際の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

	n= 992	H29調査		【参考】	増減 H29-H23
		回答数(人)	割合	H23調査 割合	
自動車(自分で運転)		845	85.2%	(75.6%)	9.6pt
徒歩		136	13.7%	(11.6%)	2.1pt
自転車		109	11.0%	(6.8%)	② 4.2pt
自動車(家族や知人などに送迎してもらう)		98	9.9%	(13.0%)	-3.1pt
鉄道		82	8.3%	(7.0%)	1.3pt
バス		57	5.7%	(5.1%)	0.6pt
オートバイ・原動機付き自転車		31	3.1%	(3.0%)	0.1pt
タクシー		21	2.1%	(3.2%)	-1.1pt
その他		4	0.4%	(0.8%)	-0.4pt
無回答		18	1.8%		

① 目的別では、通院時は鉄道・バスなどの公共交通の他、自動車(家族等による送迎)の利用も多い。

② 自転車の利用者は増加する傾向があり、通学や買い物、趣味・娯楽等での利用が多い。

	n	自動車	徒歩	自転車	自動車	鉄道	バス	オート	タクシー
		自分で 運転		自転車	家族等 が送迎			バイ・ 原動機 付き 自転車	
通勤	458	88%	11%	9%	4%	7%	3%	4%	2%
通学	7	43%	29%	② 29%	14%	29%	0%	0%	0%
仕事	117	89%	10%	9%	8%	4%	5%	3%	2%
買物	277	82%	18%	② 16%	20%	9%	8%	2%	3%
通院	33	67%	18%	9%	① 24%	① 9%	① 18%	9%	3%
趣味・娯楽	51	82%	18%	② 18%	6%	18%	8%	4%	2%
家族の送迎	30	90%	13%	0%	7%	7%	3%	0%	3%
全体	974	87%	14%	11%	10%	8%	6%	3%	2%

注)「通学」の回答者は、全て19歳以上の学生である。

<道路整備状況に対する満足度>

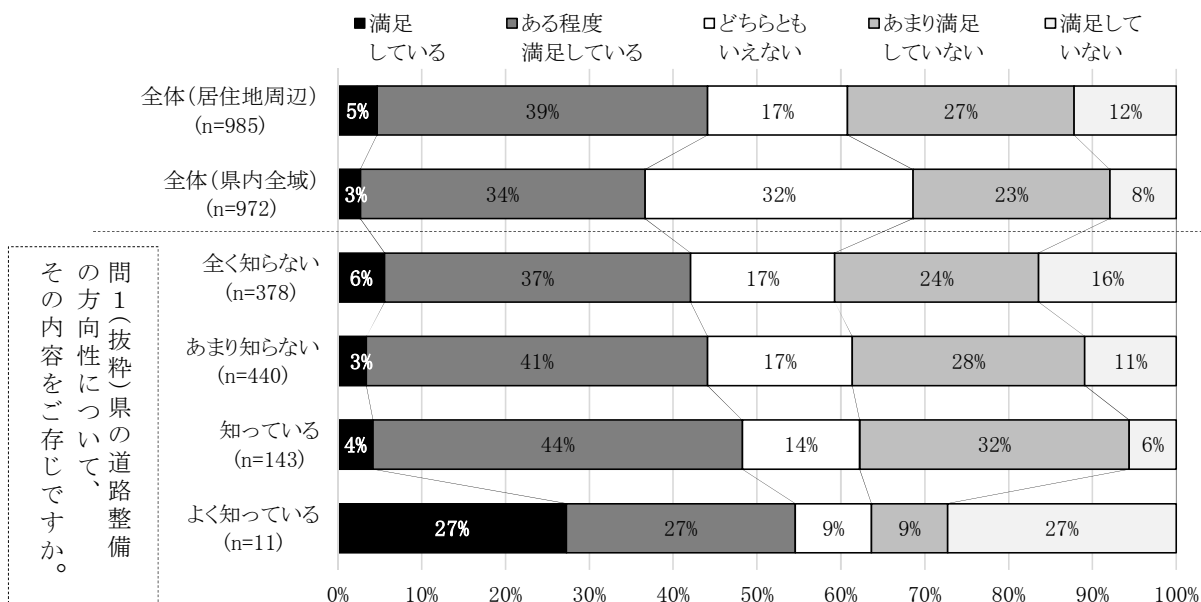
「満足」「ある程度満足」を合わせて4割以下で、居住地周辺に対する満足度は評価が分かれている。

問4 現在の道路整備状況について満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

	居住市町村周辺 n=992		長野県全体 n=992	
	回答数(人)	割合	回答数(人)	割合
満足している	46	4.6%	26	2.6%
ある程度満足している	388	39.1%	330	33.3%
どちらともいえない	164	16.5%	311	31.4%
あまり満足していない	266	26.8%	228	23.0%
満足していない	121	12.2%	77	7.8%
無回答	7	0.7%	20	2.0%

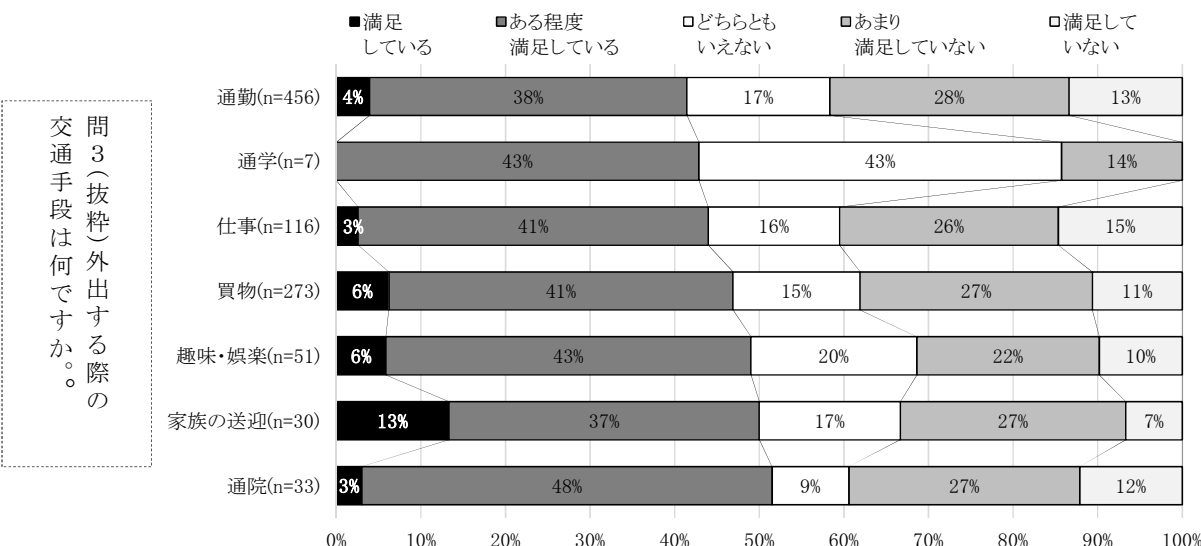
【問1: 県の道路整備の方向性に対する認知度との関連】

- 道路整備の方向性を知っている人ほど、満足度が高い傾向



【問3: 外出目的との関連】

- 通勤・通学や仕事など、速達性や定時性が求められる外出目的における満足度が低い傾向



<優先して整備すべき道路について>

「通勤や買い物などの生活道路」や「市町村間を結ぶ幹線道路」などを希望する人が多い

問5 今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	H29調査		【参考】	増減 H29-H25
	n= 992 回答数(人)	割合	H25調査 割合	
通勤や買い物などの生活道路	667	67.2%	(63.4%)	3.8pt
いくつかの市町村を結ぶ幹線道路	466	47.0%	(54.6%)	-7.6pt
市街地の道路	339	34.2%	(31.0%)	3.2pt
山間地の道路	298	30.0%	(29.0%)	1.0pt
観光地に通じる道路	202	20.4%	(27.9%)	-7.5pt
隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)	164	16.5%	(20.7%)	-4.2pt
高速道路	115	11.6%	(6.6%)	5.0pt
整備の必要はない	13	1.3%	(1.2%)	0.1pt
わからない	17	1.7%	(8.2%)	-6.5pt
その他	80	8.1%	(3.2%)	4.9pt
無回答	5	0.5%	(0.7%)	-0.2pt

- ① 多くの地域で「通勤や買い物などの生活道路」と回答する割合が多い。
(参考:通勤や買い物等による移動距離は、平均5km前後～最大広域市町村圏規模と考えられる※)

※「H27長野県商圏調査結果」長野都市圏総合都市交通計画委員会資料による

- ② 飯伊地域や大北地域など、高速交通網の計画がある地域において、「高速道路」や「隣の県へ通じる主要な道路」と回答する割合が多い。

①

	n	通勤や 買い物 などの 生活道路	いくつかの 市町村を 結ぶ幹線 道路	市街地の 道路	山間地の 道路	観光地に 通じる 道路	隣の県へ 通じる 主要な 道路	高速道路
佐久	94	55%	54%	24%	26%	13%	14%	13%
上小	109	67%	48%	31%	35%	20%	16%	11%
諏訪	103	70%	40%	46%	27%	16%	13%	9%
上伊那	64	58%	66%	20%	30%	22%	19%	13%
飯伊	53	70%	32%	23%	53%	19%	②26%	11%
木曾	6	67%	33%	33%	50%	50%	17%	0%
松本	200	71%	49%	42%	28%	21%	23%	12%
大北	26	35%	58%	27%	31%	31%	②31%	27%
長野	288	71%	45%	34%	30%	23%	11%	10%
北信	42	76%	33%	40%	21%	21%	19%	17%
全体	992	67%	47%	34%	30%	20%	17%	12%

<優先してすべき対策について>

「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」と回答した人が7割超

問6 日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

n = 992	H29調査		【参考】	増減
	回答数(人)	割合	H25調査割合	H29-H25
沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理	724	73.0%	(62.0%)	11.0pt
歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善	490	49.4%	(50.0%)	-0.6pt
すれちがいしやすしたり、急カーブ・急勾配を減らす	393	39.6%	(36.3%)	3.3pt
交通渋滞をなくす	325	32.8%	(29.4%)	3.4pt
落石、土砂崩れの危険をなくす	231	23.3%	(26.3%)	-3.0pt
地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保	223	22.5%	(27.9%)	-5.4pt
わかりやすい標識の設置や道路情報の提供	120	12.1%	(14.5%)	-2.4pt
自然環境や景観への配慮	110	11.1%	(13.0%)	-1.9pt
バス専用レーンの設置、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用	39	3.9%	(5.4%)	-1.5pt
特にない	3	0.3%	(0.5%)	-0.2pt
わからない	2	0.2%	(0.2%)	0.0pt
その他	48	4.8%	(6.4%)	-1.6pt
無回答	4	0.4%	(0.9%)	-0.5pt

① 飯伊地域や木曾地域では、「落石、土砂崩れの危険をなくす」に対する回答割合が多い。

② 松本地域や長野地域など、都市部において「交通渋滞をなくす」に対する回答割合が多い。

n	沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪等の維持管理	歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善	すれちがいしやすしたり、急カーブ・急勾配を減らす	交通渋滞をなくす	落石、土砂崩れの危険をなくす	地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保	わかりやすい標識の設置や道路情報の提供	自然環境や景観への配慮	バス専用レーンの設置など道路の効率的な利用
佐久 94	78%	53%	45%	22%	24%	19%	9%	7%	2%
上小 109	72%	54%	43%	30%	24%	19%	12%	13%	5%
諏訪 103	75%	61%	38%	31%	17%	23%	12%	12%	3%
上伊那 64	72%	42%	34%	31%	36%	23%	13%	11%	2%
飯伊 53	77%	42%	43%	15%	40%	32%	9%	13%	4%
木曾 6	50%	50%	33%	33%	50%	33%	0%	17%	17%
松本 200	70%	52%	36%	38%	22%	28%	16%	12%	3%
大北 26	69%	31%	38%	23%	31%	31%	12%	19%	4%
長野 288	73%	47%	41%	39%	18%	18%	11%	10%	6%
北信 42	86%	38%	40%	29%	19%	19%	14%	7%	5%
全体 988	73%	50%	40%	33%	23%	23%	12%	11%	4%

＜高齢歩行者への配慮としての道路整備について＞
 「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」を希望する人が9割弱と非常に多い

問7 高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

	H29調査(長野県)		【参考*】	差異 長野県-全国
	n= 992	回答数(人) 割合	H28全国 調査割合	
歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消	863	87.0%	(63.0%)	① 24.0pt
自転車と歩行者の通行空間の分離	618	62.3%	(54.8%)	7.5pt
高齢者や車いす使用者などが快適に移動できる バリアフリー経路の案内	446	45.0%	(38.5%)	6.5pt
ベンチを設置するなど休憩のできる歩道の整備	330	33.3%	(20.6%)	① 12.7pt
違法に設置された看板や放置自転車の撤去	262	26.4%	(25.0%)	1.4pt
電線類の地中化、電柱の撤去	247	24.9%	(25.9%)	-1.0pt
特になし	14	1.4%	(4.5%)	-3.1pt
わからない	7	0.7%	(0.8%)	-0.1pt
その他	32	3.2%	(1.8%)	1.4pt
無回答	6	0.6%		

*:「道路に関する世論調査:H28.7調査」(内閣府<http://survey.gov-online.go.jp/index.html>)を加工して作成

- ① 全国調査に比べ、「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」や「ベンチを設置するなど休憩のできる歩道の整備」に対する希望が強い。
- ② 車いす保有者は、バリアフリー経路等に対する希望が強い。

	歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消	自転車と歩行者の通行空間の分離	高齢者や車いす使用者等が快適に移動できるバリアフリー経路の案内	ベンチを設置するなど休憩のできる歩道整備	違法に設置された看板や放置自転車の撤去	電線類の地中化、電柱の撤去
n						
自動車	949 88%	62%	45%	33%	27%	25%
オートバイ・原動機付き自転車	156 88%	54%	45%	31%	26%	32%
自転車	571 88%	66%	44%	32%	27%	25%
車いす	28 100%	61%	② 82%	43%	43%	29%
ハンドル形電動車椅子	9 67%	44%	44%	22%	11%	22%
保有なし	9 56%	44%	22%	22%	11%	22%
全体	986 88%	63%	45%	33%	27%	25%

<地域活性化のための道路整備について>

「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」を希望する人が約5割

問8 お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

n= 992	H29調査(長野県)		【参考*】	差異
	回答数(人)	割合	H28全国調査割合	長野県-全国
歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備	507	51.1%	(38.9%)	① 12.2pt
周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備	470	47.4%	(29.8%)	① 17.6pt
大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備	393	39.6%	(39.2%)	0.4pt
観光資源となるような美しい景観の道路の整備	303	30.5%	(19.0%)	① 11.5pt
バス同士やバスと鉄道などとの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備	257	25.9%	(26.0%)	-0.1pt
野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備	226	22.8%	(18.2%)	4.6pt
高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)や道の駅を活用した地域拠点の整備	204	20.6%	(12.6%)	8.0pt
観光地へ行きやすくする道路の整備	188	19.0%	(17.2%)	1.8pt
工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジ(IC)や空港などへのアクセス道路の整備	178	17.9%	(17.9%)	0.0pt
特にない	31	3.1%	(10.0%)	-6.9pt
わからない	10	1.0%	(3.3%)	-2.3pt
その他	58	5.8%	(0.6%)	5.2pt
無回答	7	0.7%		

*:「道路に関する世論調査:H28.7調査」(内閣府<http://survey.gov-online.go.jp/index.html>)を加工して作成

- ① 全国調査に比べ、「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路」や「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路」、「観光資源となるような美しい景観の道路」の整備に対する希望が強い。
- ② 飯伊や大北地域など、高速交通網の計画がある地域は、「工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のICや空港などへのアクセス道路の整備」など道路を活用した地域活性化への希望が強い。

	歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路整備	周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路整備	大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路整備	観光資源となるような美しい景観の道路整備	バス同士やバスと鉄道等の乗り換えしやすいターミナルや駅等の拠点整備	野菜や魚介類等の生産地から消費地への迅速な輸送を可能にする幹線道路整備	高速道路のSA・PAや道の駅を活用した地域拠点の整備	観光地へ行きやすくする道路の整備	工場建設等の民間の投資と連携した高速道路ICや空港等へのアクセス道路整備
n									
佐久	94	54%	32%	28%	33%	26%	19%	11%	21%
上小	109	50%	52%	35%	29%	20%	13%	25%	11%
諏訪	103	59%	46%	34%	30%	27%	24%	17%	16%
上伊那	64	38%	59%	41%	23%	20%	25%	14%	19%
飯伊	53	36%	49%	45%	38%	25%	28%	19%	② 34%
木曾	6	67%	50%	50%	67%	33%	50%	67%	② 17%
松本	200	60%	49%	52%	35%	26%	20%	22%	16%
大北	26	50%	42%	46%	35%	19%	15%	23%	② 31%
長野	288	50%	48%	37%	27%	30%	22%	18%	18%
北信	42	38%	45%	38%	29%	24%	14%	17%	14%
全体	992	51%	47%	40%	31%	26%	21%	19%	18%

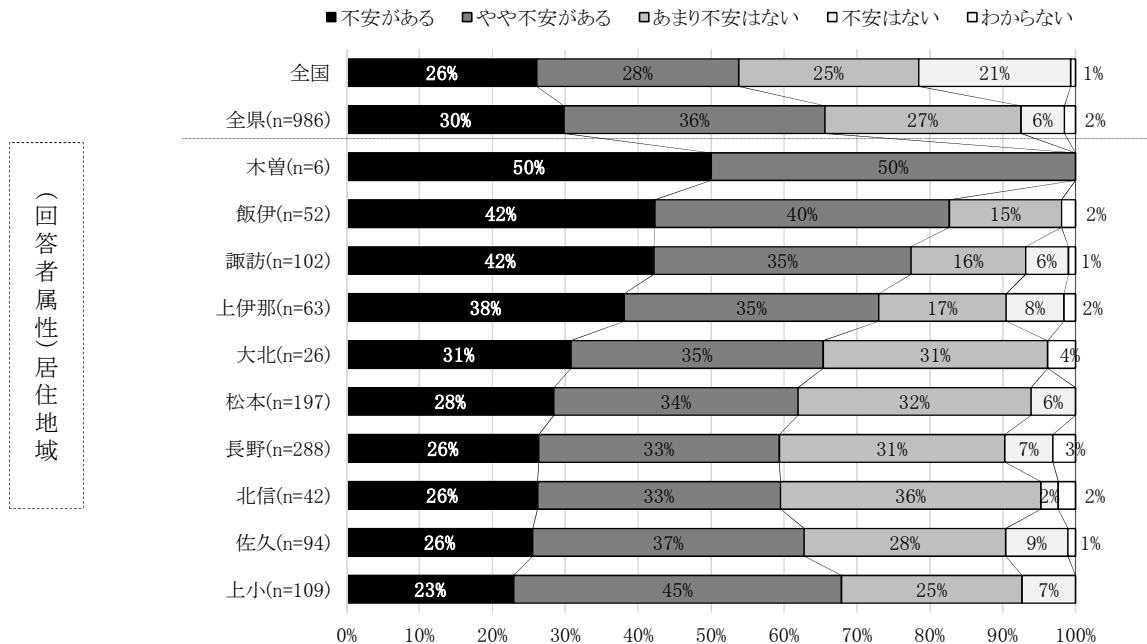
＜道路網分断に対する不安感＞
「不安がある」「やや不安がある」を合わせて6割超

問9 大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。(〇は1つ)

	H29調査(長野県)		【参考*】 H28全国 調査割合	差異 長野県-全国
	n= 992	回答数(人) 割合		
不安がある	294	29.6%	(26.1%)	3.5pt
やや不安がある	353	35.6%	(27.7%)	7.9pt
あまり不安はない	265	26.7%	(24.7%)	2.0pt
不安はない	59	5.9%	(20.8%)	-14.9pt
わからない	15	1.5%	(0.7%)	0.8pt
無回答	6	0.6%		0.0pt

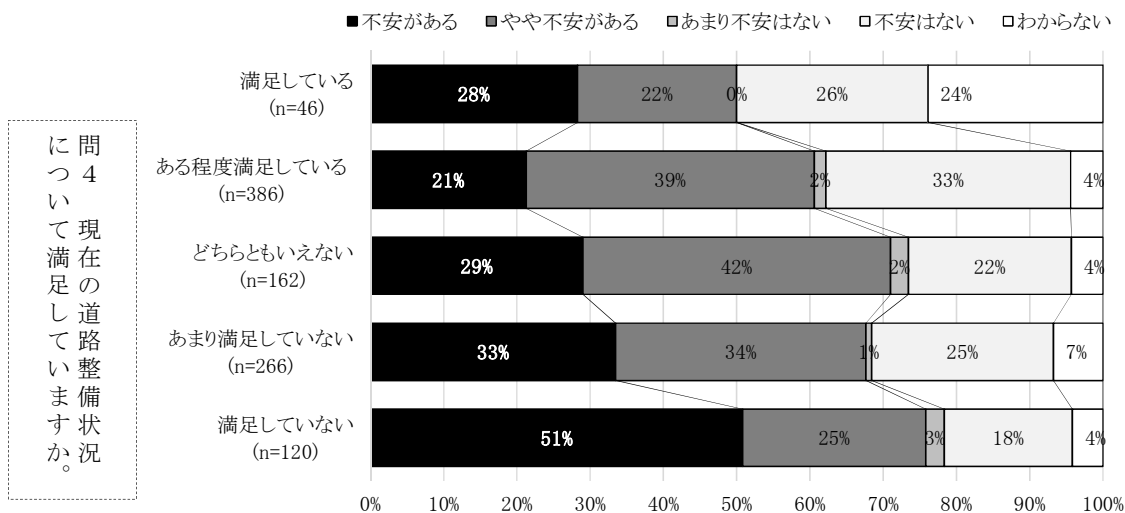
*:「道路に関する世論調査:H28.7調査」(内閣府<http://survey.gov-online.go.jp/index.html>)を加工して作成

- ① 全国と比べ、全県的に不安感が強く、特に木曾地域や南信ブロックにおいて顕著である。
- ② 道路整備に対する満足度が低い人は、不安感が強い傾向にある。



【問4: 道路整備状況に対する満足度との関連】

道路整備状況に満足していない人ほど、不安感が強い傾向



観光に関する満足度等の調査結果

■総合的な満足度と項目別評価(単一回答)

※旅行件数ベース

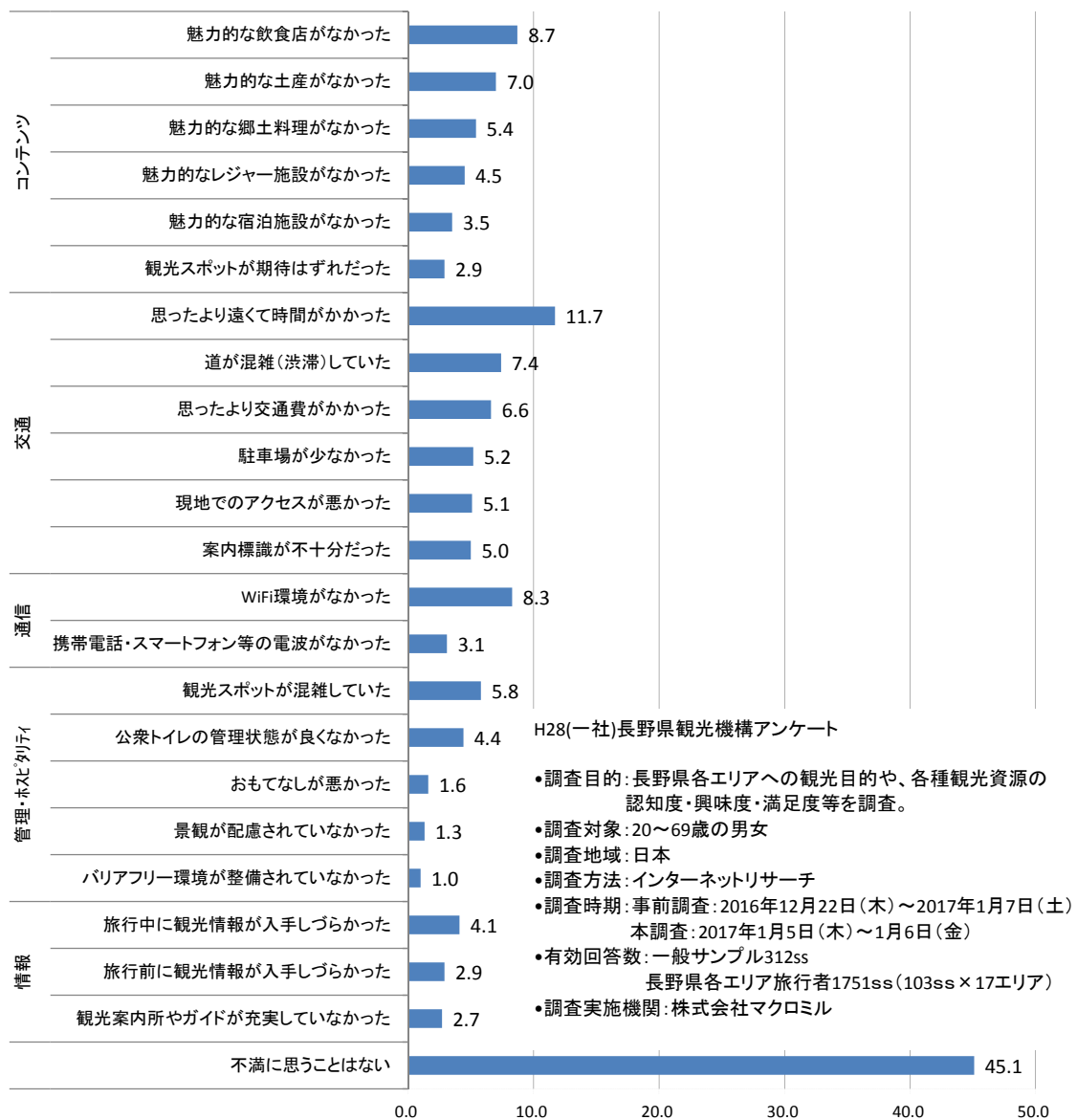
	長野県	順位
総合的な満足度	86%	14位
地元ならではのおいしい食べ物が多かった	56%	33位
魅力のある特産品や土産物が多かった	48%	28位
魅力的な宿泊施設が多かった	43%	18位
子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	21%	21位
若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	24%	15位
大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	41%	16位
地元の人のホスピタリティを感じた	23%	27位
現地で良い観光情報を入手できた	24%	28位
現地へのアクセスが良かった	39%	30位

※総合的な満足度の全国平均は84%

「統計からみる長野県観光の現況」より長野県観光部 H26.9

じゃらん宿泊旅行調査2014

▶ 他の満足度に比べ、「アクセス」に関する満足度は低い



▶ 交通の項目では「時間がかかった」や「混雑(渋滞)」に関する不満度が高い